

あだたら

七月九日(日)

笠山下登山道整備

報告 編集部

発行所 新山市の会
 所在地 松山市東区
 〒790-0843
 編集 渡辺 正



ここは「峰の辻」と「勢至平分岐」を結ぶ登山道で昭和二十四年に「第一次くろがね小屋」が出来る前は岳温泉から安達太良山頂往

復の主要な登山道で現在でも利用者は多い。当日は午前八時半に奥岳登山口に七名の会員が集まって登山を開始、十時過ぎには勢至平



作業中



ヤエハクサンシャクナゲ



ハンノキ林出口、笠山下道標

分岐から 笠山下登山道に入って 通過の支障になっている笹や灌木の刈払い作業を開始した。マルバシモツケ・ウラジロヨウラク・ハクサンシャクナゲなどが開花していたが、中に一株

●編集部連絡先
 二本松市東内1-5-15
 0243(22) 4245
 渡辺 正

福島県の花「ネモトシヤクナゲ」の開花も見られた。この道は深く掘られた滑り易い道だが、今は乾燥続きで楽に歩ける。良く晴れた日で実に暑く、二本松市のデー々で三五・一度の猛暑日、作業中に体調不良となる者も出たほどだった。午後三時過ぎには 無事奥岳登山口に下山した。

七月六日、七月例会後、全国信用金庫協会・社会貢献賞個人賞を受賞された大内学常任顧問のお祝い会が開催されました。青木会長挨拶、菅原さんから花束贈呈、飛び入りで太陽プラザの斎藤元・元会長の奥さんから記念品贈呈、大内学常任顧問から受賞者挨拶、佐藤タカ子さんから記念品贈呈の後、本田忠勇さんの乾杯で祝宴が始まりました。



阿部健前常任顧問からお祝い言葉、品竹会計監査の中締めで一応の区切り。祝宴は夜の更けるまで続きました。大内学常任顧問からは祝宴に先立ち、多大な御寄付を戴きました。使途については、大内学常任顧問の意向も伺いつつ役員会で協議し有効に使わせて頂くことにしたいと思います。ありがとうございました。

大内学常任顧問、お祝い会

報告 編集部

因みに当会の大部分のアマチュア無線局が使用している「ケンウッド・TH-F7」は新スプリアル規格適合品ですので、手続きは必要ありません。確認保障についての詳細は、JHF7 B A V 佐藤雄一さんから編集部までお問い合わせ下さい。



『これは適合品』

アマチュア無線、旧スプリアル機械、確認保障は、今年十月末迄に、編集部

世界無線通信会議で無線通信規則が変更され、必要帯域外の不要放射(スプリアス)の値が低減されました。会員が利用しているアマチュア無線機で平成十七(二〇〇五)年以前に購入された製品は、新しい規制に適合しておりませんが、取替または新規格への改造が必要です。経過措置として平成三十四(二〇二二)年迄は今のまま利用できますが、免許申請・更新などの時には、新機器に取り替えるか、今年十一月末までに「日本アマチュア無線振興協会のスプリアス確認保障」が必要になります。